

報道関係者各位

2021年6月8日 配信 No.2021-10

## 学生と地元企業フドーキンがコラボ商品開発 第2弾スタート コロナ禍で高まった健康意識と、グローバルな視点・経験から着想

立命館アジア太平洋大学（APU・大分県別府市）、フドーキン醤油株式会社（フドーキン・大分県臼杵市）、株式会社インスパイア（東京都港区）は、学生と企業のコラボレーション商品開発の第2弾を開始します。この共同開発第2弾は、新型コロナウイルスの感染拡大によって、これまで以上に高まっている社会の健康意識に着目し、普段の食事に簡単に取り入れられる新しい健康志向のドレッシングを開発し、市場展開まで学生チームとともに共同で進めていくプロジェクトです。今後は、コロナ感染状況を見ながら、工場訪問などの取り組みも進めていきます。



商品の大きな方向性をオンラインと対面のハイブリッドで議論し、確認を進める学生とフドーキン担当者（2021年3月）

### プロジェクトの経緯

フドーキン醤油株式会社、株式会社インスパイア、APUは、2017年5月に相互連携協定を締結し、第1弾の共同開発として、高まるインバウンド市場をターゲットに、どんな人でも安心して食べられる九州発のハラール認証を取得した甘口の醤油「はちみつ醤油」を開発し、2019年1月より製造販売をしました。

第2弾となる今回のプロジェクトでは、APUに在籍する6カ国（韓国、日本、スリランカ、バングラデシュ、インドネシア、モロッコ）出身の学生8名と国際経営学部の教員2名（フィリピン出身とカナダ出身）が中心となり、フドーキンの商品開発部や、インスパイアとともに、商品コンセプト、味、パッケージデザイン、などの細かなアイデア出しから、商品完成後のマーケティング、市場展開までを共同で進めます。

大きな方向性を定めるために、2020年度中に初期の開発プロジェクトメンバー6名で、オンラインなどでミーティングを8回実施しています。2021年度より、より多様なあふれる学生たちが開発プロジェクトメンバーとして参画し、2021年5月に改めて商品開発を本格始動することとなりました。

外国人留学生を含む学生の多様な価値観や視点、感性を大切に、地元企業がそれに応える形で九州発のユニークな商品の開発に、取り組んでいきます。全国への市場展開を視野にいれ、美味しく、ユーザー目線に立ったドレッシングの開発を目指します。

フドーキン醤油（株）代表取締役社長 小手川強二：2019年に共同開発商品第1弾としてハラール認証を取得した「はちみつ醤油」が上市されました。メンバーが一軒した今回の共同開発は、学生主体の企画・開発です。APU生ならではの、国際色豊かな経験や知恵を生かしたコンセプトが生まれているようです。これらが無事、商品となる事を楽しみにしています。

APU国際経営学部長 ライラニ・アルカンタラ：このプロジェクトに関わり、フドーキン醤油(株)、(株)インスパイアの皆さんが、学生に様々な素晴らしい挑戦の機会を提供くださっていることに心から感謝しています。3者のチームで創り上げる新商品は、パンデミックの中でも人々に健康や快適な暮らしをサポートできるような製品にしたいと考えています。多様な視点、文化やバックグラウンドを持つ企業と学生チームで素晴らしい商品ができることを期待しています！

(株)インスパイア代表取締役社長 高槻亮輔：今回は、商品完成後のマーケティングと市場展開まで学生の皆さんと一緒に計画です。ダイバーシティ豊かなチームから得られた知見をフドーキンの海外展開を担う戦略子会社 ASEAN Fundokin Corporation の事業にも活かしたいと考えています。

【お問い合わせ・取材お申込み】 学長室（広報）担当：大滝、ジョーンズ、松本

〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1 Tel: 0977-78-1114 携帯：090-5473-3803 Email：[r-apu@apu.ac.jp](mailto:r-apu@apu.ac.jp)